

## 第 60 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ペガシス
第一三共 (株)	ネキシウム	大日本住友製薬 (株)	アバプロ
(株) ジェイ・エム・エス		興和 (株)	リバロ
大塚製薬 (株)	ムコスタ	大塚製薬工場 (株)	エルネオパ
塩野義製薬 (株)	オキシコンチン 他	シーメンス・ジャパン (株)	Biograph mMR
大鵬薬品工業 (株)	アロキシ	武田薬品工業 (株)	アジルバ
田辺三菱製薬 (株)	レミケード	(株) ツムラ	六君子湯
(株) ヤクルト本社	カンプト 他		

(ABC 順)

## 編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金子弘真 佐地勉 杉山篤

周郷延雄 高橋寛 高橋啓

津熊久幸 瓜田純久 (ABC 順)

## 編集後記

研修医には研修中に経験した症例や調査した内容を提示することが課されており、月1度開かれるこの報告会に私も時間が許すかぎり参加している。その際、いつも驚かされるのが彼らのプレゼンテーションの巧さである。演題の中には指導医に指導されながら医局の勉強会や学会で発表されたものも含まれていることは確かだが、なにより若い医師たちは学生の頃からパワーポイントを操りながら発表、報告することに慣れており、視覚に訴える魅力的なプレゼンテーションを行う術を身につけている。私の時代とは比べようもない。

こういう貴重な症例やデータは論文という形で記録に残し、ぜひ多くの人の目に触れてほしいと願うが、『書く』という作業になると『話す』こととは状況が大きく変わってくる。何を訴えるための報告であるのか、論点は何なのか、理解に苦しむレポートが数多く見受けられる。残念ながら指導する側も『話す』ことに比べれば『書く』ことに長けていない者が多いからチェックの度合いは軽くなる。英語で報告となるとなおさらである。日本語の原稿を翻訳業者に渡して英文に変換してもらう方法も悪くはないが、論旨の見えない和文を渡したところで完璧な英論文ができあがるはずもない。そして何より彼らは営利を目的とした業者である。依頼者がなにも言わなければそれで契約は終了し

## 訂正

本誌 第60巻第2号 85頁  
シンポジウム(第66回東邦医学会総会)座長のことは  
なぜ今敷地内禁煙なのか:受動喫煙からCOPD(慢性閉塞性肺疾患)まで

以下のとおり訂正致します。

85頁 タイトル部  
誤:「喫煙の影響と受動禁煙予防」  
↓  
正:「喫煙の影響と受動喫煙予防」

不完全な英文と高額な請求書だけが手元に残ることになる。それを投稿したとしても掲載までに苦勞することは目に見えている。

**投稿初心者へのアドバイス:**論文を書き始める前にこの論文で訴えたいことを箇条書きにし、それをどの順番で提示していくのが最も効果的で理解されやすいか、論文構成を十分に練って下さい。そして、論文を書き上げたことに安心するのではなく、何度も何度も読み返して論理に矛盾はないか点検し、ブラッシュアップして下さい。

論文を書くには確かにエネルギーが必要です。努力するからには少しでも高評価、インパクトファクターの高い雑誌に掲載されたいと願うのは当然です。しかし、なんの準備もなく高い山に挑むのはやはり無理です。東邦医学会雑誌の査読者は丁寧かつ適切なアドバイスをして下さいます。統計も英文もチェック体制が整っています。ここで『書く』ことの知識と技術を十分に身につけて下さい。

(高橋 啓)

## 東邦医学会雑誌 第60巻 第6号

平成25年11月1日発行

編集兼 並 木 温  
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎